

# 電波時計 取扱説明書

## Radio Controlled Clock

- お買い上げありがとうございました。
- ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ正しくお使いください。
- この製品は日本国内用ですので、海外での使用には適しておりません。ご了承ください。
- この取扱説明書は必ず保管してください。

製造・販売元

 **Lemnos** 株式会社タカタレムノス

www.lemnos.jp / info@lemnos.jp

本社 〒933-0957 富山県高岡市早川 511

東京ショールーム 〒112-0012 東京都文京区大塚 3-7-14 シャノワール文京1F

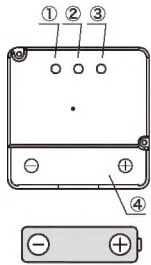
TEL 0766-24-5731 FAX 0766-22-8071

オフィス TEL 03-5981-8120 FAX 03-5981-8365

説明書番号 64055-2

### 各部の名称

本体裏面 ムーブメント図



- ① **M.SETボタン**  
手動設定をするときに使用するボタンです。
- ② **RESETボタン**  
リセット操作をするためのボタンです。
- ③ **RECボタン**  
強制受信をするためのボタンです。
- ④ **電池ホルダー**  
電池は電池ホルダー内の⊕⊖表示の向きに合わせてください。


### 製品仕様

※製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

精 度	：平均月差 ±30 秒以内 (気温5℃～35℃で使用した場合、且つ電波時計による時刻修正を行わない場合)
表 示 精 度	：±1 秒以内 (電波受信による時刻修正の直後)
使用温度範囲	：0℃～+40℃
使 用 電 池	：単3形乾電池 使用数 1 本 アルカリ、またはマンガン乾電池 [size AA/1.5V/LR6 or R6P]
電 池 寿 命	：約 7～9 ヶ月 (受信修正機能稼働状況によっては、電池の消耗が早まります)
受 信 電 波	：標準電波 (JJY) 周波数：40kHz/60kHz (自動選局)
自動受信回数	：最多 12 回/1日

※付属の電池は工場出荷時に入れていますので、電池寿命が製品仕様より短い場合があります。  
※サマータイム導入時には、自動的に時刻を修正します。

### ご使用頂く電池について



注意

本製品における電池仕様は、1.5V のアルカリ乾電池またはマンガン乾電池です。故障などの原因になりますので、下記の電池は使用しないでください。

※オキシライド乾電池 (初期電圧の高い高性能電池) には対応しておりません。機械に不具合が起きる可能性がありますので、使用しないでください。

※充電式電池は電圧が低いので (1.2V)、弊社製品には使用しないでください。

### ご使用方法 ※正しく時計を起動させるために、下記の順番にご注意下さい。

#### ①電池を入れる

- 乾電池の⊕プラス⊖マイナスを確かめ、確実に電池ホルダーに入れる。
- ※⊕⊖を逆に入れると、時計は動きません。

#### ②針が動き出す

- 電池を入れると針が早回りで動き出します。
- 12 時の位置ですべての針が停止します。(電波受信状態)
- ※受信待機中、針が止まったままになりますが故障ではありません。
- ※分針の静止位置が多少前後にぶれる場合がありますが故障ではありません。

#### ③電波受信の結果が出るまで、そのまま待つ(通常10～15分)

- 電波受信すると針が早回りで動き出し、正確な時刻を指します。
- ※受信環境によって、受信までの時間は異なります。
- ※受信待機中はボタン類を操作しないでください。誤作動の原因となります。

#### ④電波受信できなかった場合

- 電波受信待機状態 (12 時停止) から 16 分間で受信できなかった場合、針はその位置 (12 時) から運針を始めます。
- ※このような場合は以下の方法をお試しください。

#### ■手動で時刻を合わせる

##### A. 運針中の操作

- [1] **M.SET ボタン**を約3秒押すと、時分秒針が停止します。
- [2] 一旦ボタンを離して再度 **M.SET ボタン**を押すと、約1秒後に時分針が動き出します。  
(押している間、針は動き続けますので、現時間の少し手前でボタンを離してください)
- [3] 以降、1回押すごとに1分進みます。
- [4] 現時間に合わせたら、**REC ボタン**を1回押して操作終了となります。
- [5] 時分秒針が動き出します。  
(**REC ボタン**を押さなかった場合は3分後に動き出します)

##### B. 針が停止中の操作

上記 [2] からの操作になります。

#### ■強制受信をして場所を変えて受信を待つ

- [1] **REC ボタン**を約3秒間押します。
- [2] 針が早回りで動き出し、12 時位置で停止します。
- [3] 受信待機状態に入ります。

16 分間で受信できなかった場合は「強制受信以前の位置」から始動。  
(例：30 分遅れで運針中に強制受信し、受信できなかった場合は、再び30 分遅れの状態に戻って再始動します)

※電波受信をしやすい窓際などに、時計を移動させてお試しください。

#### □一昼夜そのままにして様子を見る

夜間は比較的電波の状況が良くなりますので、受信する可能性が高くなります。  
(1 日 12 回の自動受信で受信に成功すれば、現時間に修正します)

#### ⑤リセット操作について

- 以下のような場合に **RESET ボタン**を押してください。設定されている内容が初期状態に戻ります。  
(電池を入れたときと同様に針が早回りで動き出し、12 時位置で停止して、受信待機状態になります)
- ・操作中に不明な点が出てきた場合
- ・現時間で作動していた時計に異常な症状 (時間の狂いや停止など) が確認された場合



